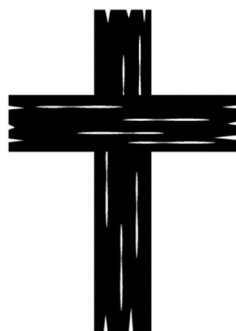


聖金曜日の黙想

受難物語の中のペテロ

—— マルコ福音書による



司祭 ヨハネ 井田 泉

1. つまずきの予告

「14:27 イエスは弟子たちに言われた。『あなたがたは皆わたしにつまずく。

“わたしは羊飼いを打つ。すると、羊は散ってしまう”

と書いてあるからだ。28 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」29 するとペトロが、『たとえば、みんながつまずいても、わたしはつまずきません』と言った。30 イエスは言われた。『はっきりしておくが、あなたは、今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう。』31 ペトロは力を込めて言い張った。『たとえば、御一緒に死なねばならなくても、あなたのことを知らないなどとは決して申しません。』皆の者も同じように言った。」

イエスが弟子たちのつまずきを予告されたとき、ペテロは自分だけはつまずかないと言いました。けれどもイエスは、ペテロたちに何が起こるかを知っておられました。

主イエスよ、あなたを信じて従おうとする思いをわたしたちの内にお与えください。たとえそれを貫くことができなくなる時が来るとしても、わたしたちを見捨てないでください。

アーメン

2. ゲツセマネで

「14:32 一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、『わたしが祈っている間、ここに座っていなさい』と言われた。33 そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく恐れてもだえ始め、34 彼らに言われた。『わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい。』35 少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈り、36 こう言われた。『アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。』

37 それから、戻って御覧になると、弟子たちは眠っていたので、ペトロに言われた。『シモン、眠っているのか。わずか一時も目を覚ましていられなかったのか。38 誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。』」

イエスは、捕らえられる前、ゲツセマネで祈られました。イエスはペテロら3人の弟子たちに「わたしは死ぬばかりに悲しい」と言われました。弟子たちが祈ってくれることを願われたのです。けれども弟子たちは眠ってしまいます。イエスが死を前に苦しんでおられても。

主イエスよ、わたしたちを憐れんでください。わたしたちは一番大切なときに、弱さをさらしてしまいます。

けれども主よ、あなたがそのようなわたしたちのために祈ってくださったことを、今も祈ってくださることを教えてください。アーメン

3. イエスを知らないと言う

「14:53 人々は、イエスを大祭司のところへ連れて行った。祭司長、長老、律法学者たちが皆、集まって来た。54 ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで入って、下役たちと一緒に座って、火にあたっていた。55 祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にするためイエスにとって不利な証言を求めたが、得られなかった。……

66 ペトロが下の中庭にいたとき、大祭司に仕える女中の一人が来て、67 ペトロが火にあたっているのを目にすると、じっと見つめて言った。『あなたも、あのナザレのイエスと一緒にいた。』68 しかし、ペトロは打ち消して、『あなたが何のことを言っているのか、わたしには分からないし、見当もつかない』と言った。そして、出口の方へ出て行くと、鶏が鳴いた。69 女中はペトロを見て、周りの人々に、『この人は、あの人たちの仲間です』とまた言いだした。70 ペトロは、再び打ち消した。しばらくして、今度は、居合わせた人々がペトロに言った。『確かに、お前はあの連中の仲間だ。ガリラヤの者だから。』71 すると、ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら、『あなたがたの言っているそんな人は知らない』と誓い始めた。72 するとすぐ、鶏が再び鳴いた。ペトロは、『鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう』とイエスが言われた言葉を思い出して、いきなり泣きだした。」

イエスが捕らえられるとき逃げたペテロは、その後、恐れて遠く離れつつもイエスに従い、大祭司の屋敷の庭に入りました。けれどもそこで見とがめられ、自分がイエスの仲間であることを強く否定しました。イエスが言われたとおりになりました。

主イエスよ、ペテロの涙をご覧ください。ペテロの悔いと自責と絶望の思いを知ってください。

またわたしたちの抱える思いを知ってください。

主イエスよ、あなたは独り、受難に向けてご自身の道を進んで行かれます。偽りの証言、鞭打ち、侮辱、不当な判決…、そしてあなたは十字架を負われます。

4. イエスの墓で

「16:1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。2 そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。3 彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。4 ところが、目を上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。5 墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座しているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。6 若者は言った。『驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。“あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおりに、そこでお目にかかれる”と。』」

日曜日の朝早く、女の人たちがイエスの墓に行きました。墓を封じていた石は転がされ、中にはイエスの遺体はなく、白い長い衣を着た若者が座っていました。

若者は彼女たちに言いました。イエスは復活されてここにはおられない、と。そしてこう言いました。

「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。“あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる”と」

なぜその若者は「ペテロ」の名を口にしたのでしょうか。それはイエスが、もっとも激しく苦しんでいるであろうペテロを深く心にとめておられたからではないでしょうか。

やがてペテロは復活のイエスに出会います。そこから彼の新しい生涯が始まります。

復活の主イエスよ、あなたがわたしたちにも出会ってください。そこからわたしたちの新しい人生が始まりますように。

アーメン